



2025 年度
1 月号

しんじゅくいるまこども園
病児病後児保育室ひまわり

ひまわりだより

あけましておめでとうございます。
ことしもよろしくおねがいたします。

インフルエンザが猛威をふるう中、RS ウイルス感染症や溶連菌感染症なども流行が続いています。乾燥する冬はウイルスが空気中にとどまりやすく、インフルエンザや風邪だけでなく、嘔吐や下痢を起こす「胃腸炎」にもかかりやすくなります。こまめな手洗いだけでなく、部屋の湿度にも気を配りましょう。

オムツかぶれのケアは「清潔・乾燥・保護」

下痢便には消化酵素が含まれており、ふき取りの回数が増える胃腸炎では、お尻が荒れやすくなります。

清潔

水分たっぷりのおしりふきで優しく押すように拭きとるか、シャワーで流しましょう。清潔にすることで、皮膚の再生も早くなります。

乾燥

柔らかいタオルやガーゼなどで軽く押しあてるように水分を取り、十分に乾燥させます。湿ったままオムツを履くと、蒸れて悪化してしまいます。

保護

乾いた皮膚に、処方された軟膏やワセリン、ベビーオイルやクリームなど、油分の多い保湿剤を塗って保護します。

冬は肌の乾燥が気になる季節でもあります。肌が乾燥すると、外からの刺激に敏感になって、かゆくなりやすくなります。かきむしってしまうと、できた傷から細菌が入って、膿んだり、腫れたりしてしまうこともあるので、できてしまった傷は、なるべく清潔に保ちましょう。かゆみが続くと、ストレスが溜まったり睡眠不足になり、免疫力の低下を招いて、肌の回復を遅らせてしまいます。また、敏感になった皮膚に食べ物やホコリなどが触れることで、アトピーやアレルギー疾患が起こるリスクも高まると言われています。室内の湿度は 40~50% に保ち、肌が乾燥してしまう前に、清潔にしたあとで保湿剤を塗って、かゆみを未然に防げると良いですね。



当室では、お薬の服用のほかに、保湿剤などによる肌のケアもご希望に応じていたしております。なにかありましたら、遠慮なくご相談ください。

12 月の利用状況

主な疾患名 のべ 51 名
 ・上気道炎 ・胃腸炎 ・インフルエンザ
 ・溶連菌感染症 ・アデノウイルス感染症

病児病後児保育室の利用には、**事前登録**が必要です。
事前登録や利用について、詳しくはホームページをご覧ください。
ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

☎ 03-6302-1225

受付時間 7:30 ~ 18:00

